

第391号

2014年

5月9日

どついたニュース

全損保日勤外勤支部

東京都中央区銀座5-13-7

東銀座東京海上日勤ビル1階

電話 03-3542-9857

FAX 03-3542-9858

教宣部 発行

4・23春闘決起中央集会報告

4月23日に全損保本部主催の春闘決起中央集会がエデュカス東京で開催されました。日勤外勤支部からは在京組合員を中心に多数参加し、福井からも稲葉組合員が参加しました。

集会は、浦上委員長の「雇用と労働条件に被害を与える各社政策と経営の狙い」という問題提起から、具体的な課題ととりくみ報告として、本部佐藤副委員長の「実質的な賃下げとも言える『働き方』の見直し」について、荒木書記長から「ポスト・要員の削減と一体で進められる『希望退職募集』」について、川田外勤部長から「事務量の増加とアンダーライティング強化による外勤・直販の被害」について、それぞれ報告があり、西田貸対部長の「『生活と雇用、労働条件を守る』労働組合の役割」はどうあるべきかとのまとめがありました。

2014春闘を取り巻く状況・情勢について、参加者が認識を深めることができた集会になりました。以下、参加した稲葉組合員の感想を掲載します。

4. 23春闘決起中央集会（春闘学習会）に参加して

西日本分会 稲葉聖和

4月23日（水） エデュカス東京にて春闘学習会が開催されました。

～再編「合理化」情勢が職場にもたらす被害と労働組合の役割～をテーマに行われ、日勤外勤からは首都圏分会組合員と西日本分会から私が参加しました。

まず全損保浦上委員長が「雇用と労働条件に被害を与える各社施策と経営の狙い」と題する問題提起を行い、「経営の危機感の強まりと収益力確保の施策により、再編の第2幕、雇用が脅かされる職場、働きがいの喪失、労働法制の改悪がもたらされようとしている。その中で歪みや問題点を主張し続け、労働組合への結集が必要である」と呼びかけました。

その後、具体的な課題と取り組み報告が行われました。集会のまとめとして西田賃対部長が「生活と雇用、労働条件を守る」労働組合の役割について語られ、「団結と主張、闘いを諦めるな」と春闘結集を呼びかけ終了しました。

とりくみ報告の中で、時代が変わっても、職場が違って、「経営の考え、発想」は根本的に同じであり、常に労働者は誰しも効率化の対象であり「ひとり」では「会社」には到底打ちできないものであるということを改めて実感させられました。また先行き不透明な情勢のもと労働組合の重要性が増すなかで、全損保と日動外勤支部に結集し互いに情報を共有しながら、会社職場の歪み、問題点を主張し続けることが大切であり、明日をひらくことになると思いました。

以 上